**科目名　情報社会学**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **担当教員** | 小野　浩一 | | | | |
| **科目の種類** | 一般 | **単位区分** | 選択 | **単位数** | 1単位 |
| **授業方法** | 講義 | **開講学期** | 前期 | **学年** | 1年 |
| **学科・コース** | 情報処理技術学科、情報システム学科、未来創生情報学科、  ビジネスライセンス学科、ITメディア学科、メディアコミュニケーション・スポーツテクノロジ学科 | | | | |

**授業概要**

2030年問題及び2045年問題を中心とする未来のIT世界について学習する。

**カリキュラムにおけるこの授業の位置付け**

　これからのIT世界に起こり得る問題に対して理解させる。

**授業項目**

1. 授業概要についての解説・2025年問題について  
   将来の情報社会を労働統計をもとに解説し、その時代に要求されている社会人について解説する。
2. Society 5.0について  
   Society5.0についての解説を行い、そこで実現される社会について解説する。  
   情報化社会にが各分野に新しい価値観を生み出していくことについて解説する。
3. 2035年問題  
   2035年に到来する超々高齢化社会について統計を元に解説を行う。未来の社会が情報処理技術という技術革命により技術革新の手助けを得て発展することになる。これらの中で登場する技術について解説を行う。
4. 2030年世界がどこに向かうのか  
   10年後に起こる労働者人口の変化について理解し、それらの社会変化の中で働き方の変化が現在の学生にどのようなスキルを要求するかについて講義を行う。
5. SDGsについて  
   「SDGs（持続可能な開発目標）」について解説を行う。この目標が掲げられた背景について触れ、現実社会の中でどのように適用されているかについて解説を行う。
6. 2050年までに登場するテクノロジーの未来年表について  
   2050年までに登場が予想されているテクノロジーについて解説を行う。
7. テクノロジーと人口で未来を俯瞰する

現在登場している社会に重要な影響を与える技術について触れる。

1. 単位認定試験

**授業の進め方**

授業時間内には講義を行う。毎時、授業終了時に小テストを課す。

**授業の達成目標（学習・教育到達目標との関連）**

情報社会について理解している事。

**成績評価の基準および評価方法**

　定期考査の点数（80%）、授業態度（20%）として評価

**教科書**

なし

**参考書**

**実務経験**

小野　浩一：IT企業において、プログラマ／システムエンジニアとして勤務。

**備考**